

講義名称	保育内容（造形表現）指導法Ⅱa
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年後期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24106262

担当教員

氏名	所属
◎ 永坂 晃子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	生活における子どもの「表現」の姿を理解し、どのように支えるかを考える保育者としての資質を養っていく。また、子どもの造形表現・あそびを教育的要素や文化的背景に照らして総合的に理解し、活動の対象となる子どもの年齢や実態に即した具体的な活動を実践し、現場に対応できる力を身につけていく。 また、本科目の一環として金城祭にて「子どもの遊びコーナー」の企画運営を行う。観察した子どもと保護者の姿から、「造形的な遊び環境」の多角的な考察に繋げる。
到達目標	各演習課題の意図と内容理解から、五領域の一つである「表現」についての理解を深める。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	①オリエンテーション	
	②秋を見つける 大学敷地内の散策から、子どもの育ちのための環境について考える。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	「幼児と造形表現」「保育内容（造形表現）指導法Ⅰ」の復習	60
第2回	【授業計画】	
	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ（1）廃材を活かしてつくる 生活素材の特徴を活かし、自然素材の特性を十分に味わえるおもちゃをつくってあそぶ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	授業に必要な物品の準備、グループごとの自主製作	120
第3回	【授業計画】	
	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ（2）子どもが遊ぶ大型おもちゃをつくる 生活素材の特徴を活かし、自然素材の特性を十分に味わえる大型の装置をグループごとにつくる	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	グループ討議、授業に必要な物品の準備、グループごとの自主製作	100

第4回	【授業計画】	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ（2）子どもが遊ぶ大型おもちゃをつくる 生活素材の特徴を活かし、自然素材の特性を十分に味わえる大型の装置をグループごとにつくる	
	【事前事後学修の内容】	グループごとの自主製作。課題レポート	【事前事後学修時間（分）】 100
第5回	【授業計画】	おもちゃや遊びコーナーの教育的、保育的な意味を考える 金城祭で観察した子どもや家族の姿から、教育、子育て支援、など様々な角度から保育環境を考える	
	【事前事後学修の内容】	金城祭に参加し、来場者（子ども、家族）の姿を観察する。課題レポート	【事前事後学修時間（分）】 180
第6回	【授業計画】	生活素材を使った子どもの工作演習（しかけを使った工作）（1） 子どもが自分でつくって遊ぶことのできる、しかけを楽しむおもちゃを、3、4、5それぞれの年齢に応じて試作する	
	【事前事後学修の内容】	課題製作物のリサーチ、計画、材料・用具の準備	【事前事後学修時間（分）】 100
第7回	【授業計画】	生活素材を使った子どもの工作演習（しかけを使った工作）（2） 試作したおもちゃのプレゼンテーション、意見交換と講評	
	【事前事後学修の内容】	授業課題シートの作成	【事前事後学修時間（分）】 100
第8回	【授業計画】	つくる活動の指導計画（1）ねらい 子どもが工作を通して味わうこと、つくったおもちゃで遊ぶ中で体験すること、を五領域に沿って分析する	
	【事前事後学修の内容】	教科書p.83～106の予習。授業課題シートの作成	【事前事後学修時間（分）】 100
第9回	【授業計画】	つくる活動の指導計画（2）直接的援助と間接的援助 造形的な活動における援助について理解する。	
	【事前事後学修の内容】	教科書p.83～106の予習。授業課題シートの作成	【事前事後学修時間（分）】 100
第10回	【授業計画】	つくる活動の指導計画（3）様々な指導形態と援助・ねらい 造形的な活動の様々な形態を理解し、形態の違いとねらいの呼応、それによる援助の相違などについて理解する。	
	【事前事後学修の内容】	教科書p.83～106の予習。授業課題シートの作成	【事前事後学修時間（分）】 60
第11回	【授業計画】	おりがみ演習	
	【事前事後学修の内容】	演習課題のリサーチ、試作	【事前事後学修時間（分）】 120
第12回	【授業計画】	あやとり演習	
	【事前事後学修の内容】	演習への興味関心	【事前事後学修時間（分）】 0

第13回	【授業計画】	
	伝承遊びについて考える	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第11回、第12回演習内容の十分な体験、課題レポート	120
第14回	【授業計画】	
	子どもの「表現」を支えるということ (1) 身体的な表現演習 子どもと共に在る大人として求められる、伸びやかな「表現する体と心」を養う。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	演習に必要な服装	0
第15回	【授業計画】	
	子どもの「表現」を支えるということ (2) まとめ 子どもの「表現」を育む意義について十分に理解する	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	90

履修に必要な予備知識や技能	子どもの発達段階の理解、他領域の理解、「幼児と造形表現」、「保育内容（造形表現）指導法Ⅰ」の理解
課題に対するフィードバック	課題レポートは添削の上、課題内容に応じて10段階、5段階などの評価を付し、返却する。各提出物へのコメント。
評価方法・基準	課題レポートおよび他提出物80%、受講態度20%
教科書	教科書：「保育をひらく造形表現」槇英子（萌文書林） 参考書：「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型こども園 教育・保育要領解説」「保育所保育指針解説書」
備考	保育は、他の分野とも連動して学ぶことが理想です。本科目は大学・学科行事や他の関連科目の進行等を考慮してフレキシブルに展開します。
実務経験の内容・期間	特別支援学校教諭（2年）、保育士（2年）、中学校教諭（1年）、美術造形活動講師（12年）